

卓話 R I 第2640地区ガバナー補佐 豊田泰史様

本年度第3分区の担当になりました豊田でございます。所属は和歌山南RCです。ロータリーは、1905年にシカゴで創設されてから110年以上経ちますが様々な職業を持つ人や市民のリーダーが「世界を変える行動人」となり、その経験と知識を生かして社会奉仕活動などに取り組んできましたが、ここまで長く続いてきたのは「社会奉仕」という理念を活動の中に取り入れてきたからだと思います。ドラッカーは、「知識社会」における人間の欲求として、①生涯学び続けることを求める。②自分はなぜ、何をしているのかが分かる環境を求める。③能動的に社会に関わることを求める。と言いましたが、ロータリーもこの3つの欲求を受け止める組織であると思います。本日お持ちしたサミュエル・ウルマンの「青春」という詩には、「青春とは、人生の期間をいうのではなく、心の様相をいう。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春と言う。年を重ねただけで、人は老いない。理想を失うときに老いがくる。・・・」と書かれていますが、ロータリー活動をされている皆様にはよくお分かりいただけるかと思えます。さて、本年度の和歌山西RCの石塚会長は、会員増強を第1の目標にされていますが、このクラブでは以前から留学生との関わり合いが深く、その活動を通じてロータリアンとして相応しい方を誘っていかれたらどうでしょうか。最近のR Iの「クラブの柔軟性」を良い方向で取り入れ、和歌山市内の他クラブや他団体(NPOその他)、和歌山大学等との交流を考えながら、楽しいロータリークラブを目指していただきたいと思えます。今後の貴クラブの発展を祈念いたします。

和歌山西ロータリークラブ 会長 石塚宏介

豊田様、お暑い中当クラブをご訪問下さり誠にありがとうございます。早速卓話の原稿を頂戴し心から感謝申し上げます。当クラブは少人数ではございますが、今年度もフレキシブルな例会(夜間例会やファンシー例会)を取り入れながら、和歌山大学留学生のご参加も頂き、楽しく西クラブらしい活動の継続を目指して参りたいと思えます。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

